

No.12「感謝の心をもって勉強しよう」

Q1：なぜ感謝の心をもって勉強しなければならないのですか。

A：(1)①「勉強は自分の力で行うもの」で、感謝の心をもってするようなものではない。そのような考えをおもちの方も多いと思います。



②ただ、よく考えてみれば、土地を購入して学校を建設し、教室や体育館など様々な学校設備を施すには巨額の費用が必要です。また、先生や事務の方を雇用し、教科書や教材を提供するのにもかなりの費用が必要です。

③それらの費用は、納税者の税金や、保護者の納入金、場合によっては寄付金でまかなわれています。

④国や自治体、保護者や寄付をする方々にこれらの費用を支払う能力がなければ、皆様は現在のような学校での教育は受けられないといえます。

(2)①世界には、学校に通えない子どもたちがいます。

②教室の照明や机・いす、教科書やノート、えんぴつなどの筆記用具が不足している学校が世界にはたくさんあります。トイレが不足しているため、学校で学べない子どもたちもいます。

③驚くべきことに、教室に行っても先生がいない学校も数多くあります。

④なぜか。国や自治体、保護者に十分な資金がないこと、学校教育を支える十分な「しくみ」がないことが原因とされます。

⑤学校の授業が、「2部制」といって午前部、午後部と分かれている国もあります。日本のように朝から夕方まで学校で勉強や部活動に励むことができない国もたくさんあります。

(3)①ですから、教育を十分に受けられない国の人々に思いをはせて、感謝の心をもって勉強して頂きたいと思います。同時に、どうしたら、世界中の子どもたちが十分な教育を受けられるかを考え、できることから是非、実行に移して頂きたいと希望します。

②例えば、開倫塾は、開倫ユネスコ協会の活動を全面的にサポートしています。開倫ユネスコ協会は、特に貧しい国に、ノートや教科書、学校や教材などを寄付し、学校教育や民間教育機関を支援する「世界寺子屋運動」に、「書き損じはがき」を集めることで協力しています。

③このユネスコの「世界寺子屋運動」をはじめ、ユニセフや様々な支援があります。無理のない範囲で、協力しながら、世界のありがとうございました！！子どもたちが学校で教育を受けられるようになるためには、どうしたらよいかをお考えください。とてもよい勉強になりますよ。



Q 2 : よく考えれば、家族や身の周りにはいる人たちにも随分お世話になっていますね。

- A : (1)よくお気付きになってくださいました。さすが開倫塾の塾生ですね。
(2)自分が生活する上でサポートしてくださっている方々のおかげで、学校に通学でき、開倫塾で塾生として勉強できるのですから、感謝の心をもって学校で学び、又、開倫塾での勉強に励んでくださいね。
(3)時々、感謝の心を「ありがとう」とことばに出して表してくださいね。

Q 3 : ちょっとはずかしいですね。

- A : (1)日本人は、「はにかみ屋さん」が多いので、面と向かって「ありがとう」ということばを出すことが苦手の方が多いようです。
(2)①外国では、何か1つでもしてもらったら、その度ごとに、「相手の目を見て」、「Thank you (ありがとう)」というのが「エチケット」です。
②例えば、レストランで料理を出してもらったら、ウェイターやウエイトレスさんの目をしっかり見て、「Thank you」というのは普通です。
③「Thank you」といえない人は、ごう慢な人・いばっている人・礼儀を知らない人として、あまり相手にしてもらえなくなります。
(3)①我々日本人は、外国の方々から「Thank you !」という感謝のことば、あいさつを学び、日本語で「ありがとう」ということばをもっともっと頻繁に使ったほうがよいと考えます。
②何かしてもらったら、必ず「ありがとう」という練習を試みてください。
③家族の皆さんや、ふだんお世話になっている皆さんにも、心を込めて「ありがとう」と述べてください。



Q 4 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1)お世話になった方々に、「感謝の心」をもって「お礼のことば」を述べることは大切な「能力」です。
(2)特に御家族や身近な方で親身になって心配りをしてくださった方々に、「お礼のことば」を述べることは決して忘れてはなりません。
(3)受験勉強の場合には、多くの方々のサポートを頂くことが多いので、受験の前日や合格発表後は「受験勉強を支えて頂きありがとうございました。感謝をいたします」と、お礼のことばを、はずかしがらずに、「ゆっくり」述べることをおすすめします。
(4)万が一、第1志望校に不合格になった場合もまったく同様です。
「第1志望校には不合格になりましたが、合格できた学校で頑張ります。よろしく願いいたします」とはっきりお礼と決意表明ができてこそ、立派な人間といえます。辛いかもしれませんが、「お礼のことば」をしっかり述べて「感謝の心」を伝えましょう。
(5)この「塾生 HAND BOOK2020」を最後までよくお読み頂きありがとうございました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

